

式 辞

8月25日にスタートし最も長かった86日間の2学期も本日終了し、明日から冬休みが始まります。みなさんにとって今年の2学期はどうでしたか。

先日の学年集会で、各学年の先生方から課題や改善点について詳しく説明や指導があったと思います。肝心なことは、それを皆さん一人ひとりが自分のこととして考え行動に移すかにかかっています。冬休みや3学期をどう改善していくかを考え行動することが、より成長していく上での鍵になります。

さて、令和3年まであと一週間。元日に新たな抱負を掲げると思いますが、今までの自分の殻を打ち破って挑戦する新たな自分探しの抱負必ずしてください。そして来年の今頃に、本当に自分が成長しているかを検証してほしいと思います。

コロナとの戦いは残念ながら来年もまだまだ続きます。しかし、何かうまく行かないことがある時に、コロナのせいにして逃げないでほしいと思います。

校長先生がなるほどと思った外国の著名人の言葉がありますので2つ紹介します。一つ目は「冬がなければ、春はそんなに気持ちよく感じない。私たちは、時に逆境を味わわなければ、幸福をそれほど喜ばなくなる」。

もう一つは「凧が一番高く上がるのは風に向かっていてる時である、決して流されている時ではない。」つまり、たこが上がるためには、逆風が吹いているときであり、順風な時には、凧は上がらないという意味です。

逆境を乗り越えてこそ、人はそれだけ強くなり他人にも優しくもなれることを覚えておいてください。

また、校長先生が機会あるごとに話してきたこと。「失敗から学ぶ」「今を精一杯生きる」「自分で自分を褒められる人に」「普通に暮らせる幸せを決して忘れてはいけない」。これらのこともぜひ忘れずに自分を成長させてください。

最後になりますが、もうすぐ令和2年も終わり、年が改まり令和3年がやってきます。今年を振り返るとともに、大いなる希望をもって新年を迎えてください。そして1月7日の始業式に皆さんが笑顔で登校できることを期待し、式辞とします。